

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月10日

上場会社名 株式会社サトー商会 上場取引所 東
 コード番号 9996 URL <http://www.satoh-web.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 滝口 良靖
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 藤原 督大 (TEL) 022-236-5600
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	20,906	△16.1	265	△61.9	401	△50.1	76	△84.2
2020年3月期第2四半期	24,922	1.2	698	2.6	803	0.4	483	△10.5

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 104百万円(△77.5%) 2020年3月期第2四半期 464百万円(△13.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	8.54	—
2020年3月期第2四半期	54.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	31,917	23,681	74.2
2020年3月期	32,271	23,710	73.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 23,681百万円 2020年3月期 23,710百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2021年3月期	—	15.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 配当予想の修正については、本日(2020年11月10日)公表いたしました「連結業績予想の修正、剰余金の配当(中間配当)及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	43,400	△12.4	700	△51.3	910	△45.2	420	△59.5

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 業績予想の修正については、本日(2020年11月10日)公表いたしました「連結業績予想の修正、剰余金の配当(中間配当)及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	9,152,640株	2020年3月期	9,152,640株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	212,093株	2020年3月期	211,926株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	8,940,642株	2020年3月期2Q	8,940,792株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴い、国内外における移動の制限や生産活動の停止、および不要不急の外出自粛、学校の休業や外食サービス業の休業・営業時間短縮など、経済活動と個人消費が停滞し、景気は急速に悪化しました。6月以降、経済活動の再開する動きは見られましたが、7月以降に新型コロナウイルスの感染症の第2波の兆候が現れ、感染収束時期を見通すことが出来ず、極めて厳しい経済環境が続いております。

このような経営環境のもと当社グループは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止への対応として、従業員のマスク着用、消毒、定期的な換気などの安全対策に万全を期すとともに、社内外への感染防止と従業員の健康と安全の確保を図りながら、顧客のニーズに応えるべく企業活動を続けてまいりました。また、2020年度経営方針「難局に一致団結して乗り越えよう」をスローガンとして、全社一丸となり新型コロナウイルスの感染の予防策を実施するとともに会社の危機管理と事業継続に備え、業務プロセスのデジタル化の推進やBCP対策に注力してまいりました。

この結果、売上高209億6百万円(前年同四半期比16.1%減)、営業利益は2億65百万円(同61.9%減)、経常利益は4億1百万円(同50.1%減)、繰延税金資産1億93百万円を取崩した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は76百万円(同84.2%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

卸売業部門におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による行動自粛に伴い、特に外食業種、製菓業種、弁当業種、事業所給食業種の得意先に対する販売額の減少が顕著となりました。一方、学校給食業種については6月中旬以降に学校が再開し、夏休み期間の短縮による学校給食稼働日数の増加や献立変更に対する対応により順調に回復してきております。外食業種、製菓業種、弁当業種、事業所給食業種につきましては引き続き社会全体が行動自粛ムードとなっており、外出自粛、イベント減少、テレワーク等の影響は避けられず、現時点では当面の間は厳しい状況が続く見通しとなっております。

この結果、売上高179億68百万円(前年同四半期比18.0%減)、セグメント利益(営業利益)は3億20百万円(同60.0%減)となりました。

小売業部門におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による行動自粛に伴う個人のお客様による巣籠もり需要は落ち着きを見せましたが、利便性の高い調理済冷凍食品の動きは引き続き活発となりました。一方、主要顧客である中小飲食店やイベント業者は回復の兆しが見えず大きな影響を受けており、新型コロナウイルスの影響で苦境に立つ地元生産者・加工業者を支えるべく、三陸産の水産物のセット販売や土産物菓子産業を盛り上げる販促企画を全店で行ったことで、個人顧客のリピーターを増加させ、個人のお客様の客数は伸びましたが、町内会や学校関係のイベント中止の影響で個人のお客様の客単価は微減となりました。

商品開発におきましては、「J F S A」ブランドを中心に消費者ニーズに応じたテイクアウト商材や在宅介護需要の増加を見据えた冷凍介護食などの付加価値の高い商品、専門性の高い品揃えの充実に取り組むことで、新規お客様の獲得に注力し、既存店の活性化に努めてまいりました。

この結果、売上高29億37百万円(前年同四半期比2.6%減)、セグメント利益(営業利益)は2億22百万円(同7.4%増)となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の販売実績を業種別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	前年同四半期比(%)
卸売業部門		
製菓業種 (千円)	2,803,498	84.3
弁当給食業種 (千円)	1,686,196	82.6
事業所給食業種 (千円)	2,597,358	94.2
メディカル給食業種 (千円)	2,604,685	97.0
学校給食業種 (千円)	1,668,876	94.3
外食業種 (千円)	1,929,783	46.9
惣菜業種 (千円)	3,175,856	94.9
その他 (千円)	1,502,391	80.7
計 (千円)	17,968,647	82.0
小売業部門 (千円)	2,937,863	97.4
合計 (千円)	20,906,510	83.9

- (注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
2. 小売業部門の業種別は該当ありません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ3億53百万円減少し、319億17百万円となりました。これは主に、商品の減少によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末と比べ3億23百万円減少し、82億36百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べ29百万円減少し、236億81百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益、並びに株主配当金支払のための利益剰余金取崩しによるものであります。

この結果、自己資本比率は74.2%(前連結会計年度末73.5%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ28百万円減少し、96億39百万円(前年同四半期71億61百万円)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は4億12百万円(前年同四半期5億99百万円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3億6百万円(前年同四半期11億64百万円の獲得)となりました。これは主に、固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億34百万円(前年同四半期1億34百万円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2020年5月13日に公表いたしました「2020年3月期決算短信」において、2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が当社グループに与える影響について合理的に算出することが困難であることから未定としておりましたが、緊急事態宣言が解除され、Go To キャンペーンやイベント開催制限も緩和されるなど徐々に経済活動が回復する方向にあることを踏まえて、2021年3月期の連結業績予想及び配当予想を修正いたしました。

連結業績予想の詳細に関しましては、本日（2020年11月10日）公表いたしました「連結業績予想の修正、剰余金の配当（中間配当）及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,668,489	2,539,582
受取手形及び売掛金	4,596,980	4,838,614
有価証券	8,500,000	8,600,000
商品	2,442,536	2,078,335
その他	362,299	300,424
貸倒引当金	△20,930	△22,047
流動資産合計	18,549,374	18,334,909
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,483,741	1,473,161
土地	3,695,549	3,695,549
その他（純額）	492,773	556,837
有形固定資産合計	5,672,064	5,725,548
無形固定資産	207,519	191,835
投資その他の資産		
投資有価証券	6,192,751	6,229,980
その他	1,656,481	1,439,723
貸倒引当金	△7,162	△4,742
投資その他の資産合計	7,842,071	7,664,960
固定資産合計	13,721,655	13,582,344
資産合計	32,271,030	31,917,254
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,245,077	6,091,960
短期借入金	683,000	683,000
未払法人税等	219,000	141,700
賞与引当金	293,976	381,489
その他	798,115	611,226
流動負債合計	8,239,169	7,909,376
固定負債		
役員退職慰労引当金	202,325	209,340
退職給付に係る負債	42,646	41,849
資産除去債務	47,389	47,469
その他	28,606	28,150
固定負債合計	320,968	326,810
負債合計	8,560,137	8,236,186

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,405,800	1,405,800
資本剰余金	1,441,717	1,441,717
利益剰余金	21,041,207	20,983,420
自己株式	△188,623	△188,893
株主資本合計	23,700,101	23,642,044
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,962	76,219
退職給付に係る調整累計額	△40,171	△37,196
その他の包括利益累計額合計	10,791	39,022
純資産合計	23,710,892	23,681,067
負債純資産合計	32,271,030	31,917,254

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	24,922,073	20,906,510
売上原価	20,182,636	16,808,442
売上総利益	4,739,436	4,098,067
販売費及び一般管理費	4,041,091	3,832,099
営業利益	698,344	265,968
営業外収益		
受取利息	51,575	46,146
受取配当金	18,217	19,495
持分法による投資利益	12,897	—
受取賃貸料	25,213	31,616
雇用調整助成金	—	30,000
その他	17,248	17,189
営業外収益合計	125,151	144,449
営業外費用		
支払利息	1,185	985
賃貸収入原価	6,131	7,345
複合金融商品評価損	12,352	—
持分法による投資損失	—	849
営業外費用合計	19,668	9,180
経常利益	803,828	401,236
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6,444
特別利益合計	—	6,444
特別損失		
固定資産除却損	9,397	5,044
減損損失	86,622	—
特別損失合計	96,020	5,044
税金等調整前四半期純利益	707,807	402,637
法人税、住民税及び事業税	271,394	127,084
法人税等調整額	△46,792	199,229
法人税等合計	224,601	326,313
四半期純利益	483,206	76,323
親会社株主に帰属する四半期純利益	483,206	76,323

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	483,206	76,323
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,373	25,256
退職給付に係る調整額	△1,984	2,974
その他の包括利益合計	△18,357	28,231
四半期包括利益	464,849	104,555
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	464,849	104,555
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	707,807	402,637
減価償却費	121,560	157,993
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,049	7,015
賞与引当金の増減額(△は減少)	88,209	87,512
受取利息及び受取配当金	△69,792	△65,642
複合金融商品評価損益(△は益)	12,352	—
支払利息	1,185	985
持分法による投資損益(△は益)	△12,897	849
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△6,444
固定資産除却損	9,397	5,044
減損損失	86,622	—
売上債権の増減額(△は増加)	177,063	△241,634
たな卸資産の増減額(△は増加)	85,631	365,452
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,399,333	△153,116
その他	△216,535	△12,155
小計	△404,677	548,496
利息及び配当金の受取額	68,436	65,922
利息の支払額	△1,204	△1,077
法人税等の支払額	△262,388	△201,228
営業活動によるキャッシュ・フロー	△599,833	412,112
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△500,000	—
有価証券の売却による収入	467,500	—
有価証券の償還による収入	1,500,000	—
譲渡性預金の純増減額(△は増加)	3,800,000	—
有形固定資産の取得による支出	△231,604	△198,178
無形固定資産の取得による支出	△52,510	△112,715
投資有価証券の売却による収入	—	7,204
投資有価証券の取得による支出	△3,819,621	△2,098
その他	363	△408
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,164,127	△306,196
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△134,111	△134,110
その他	△430	△712
財務活動によるキャッシュ・フロー	△134,542	△134,823
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	429,751	△28,906
現金及び現金同等物の期首残高	6,732,153	9,668,489
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,161,904	9,639,582

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う業績への影響について、第1四半期連結会計期間まで2021年3月期中に概ね収束するものと想定しておりましたが、当第2四半期連結会計期間における売上の回復状況等を勘案した結果、過年度と同程度まで業績が回復するのは当初の想定より時間がかかることが見込まれることから、当第2四半期連結会計期間においては、今後数年間は業績への影響が継続するものと仮定し、会計上の見積りの判断を行っております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における繰延税金資産の回収可能性の判断において企業分類の変更に伴う繰延税金資産の取崩しを行ったことから、法人税等調整額1億93百万円を計上しております。

なお、当該仮定には不確実性が伴うため、第3四半期連結会計期間以降における感染の再拡大等により、業績の回復が上記の想定以上に長期間を要した場合には、固定資産の減損処理、貸倒引当金の計上等により、当連結会計年度の業績に更なる影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	21,905,011	3,017,062	24,922,073	—	24,922,073
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	21,905,011	3,017,062	24,922,073	—	24,922,073
セグメント利益	800,127	207,441	1,007,568	△309,223	698,344

(注) 1. セグメント利益の調整額△309,223千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

調整額において、除却を予定している共用資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額81,915千円を減損損失として特別損失に計上しております。

また、「小売業部門」セグメントにおいて、除却を予定している事業用資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額4,707千円を減損損失として特別損失に計上しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	17,968,647	2,937,863	20,906,510	—	20,906,510
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,968,647	2,937,863	20,906,510	—	20,906,510
セグメント利益	320,331	222,712	543,043	△277,074	265,968

(注) 1. セグメント利益の調整額△277,074千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。